

平成24年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：宇宙線将来計画タウンミーティング

英文：Future plan town meeting for cosmic ray research

研究代表者 名古屋大学太陽地球環境研究所 伊藤好孝

参加研究者 東京大学宇宙線研究所・所長・梶田隆章

大阪市立大学大学院理学研究科・准教授・荻尾彰一

甲南大学理工学部・教授・梶野文義

大阪市立大学大学院理学研究科・教授・神田展行

東京大学宇宙線研究所・准教授・瀧田正人

立命館大学理工学部・教授・森 正樹

京都大学理学部・准教授・戸谷友則

京都大学理学部・助教・窪秀利

東海大学理学部・教授・西嶋恭司

東京大学宇宙線研究所・教授・手嶋政廣

信州大学理学部・教授・宗像一起

千葉大学理学研究科・准教授・吉田 滋、 他CRC会員一同

研究成果概要

宇宙線研究分野の将来計画策定のために、これまでほぼ毎年のペースで CRC 将来計画研究会を開催してきたが、学術会議天文学宇宙物理分科会での中規模計画策定の動きに呼応するために、昨年度より新たに CRC 将来計画タウンミーティングのシリーズを開催する事となった。昨年度今年度あわせて5回行ったタウンミーティングの総括として、本宇宙線研共同利用の経費による援助を受け、11月24-25日の2日間、東大柏キャンパス図書館メディアホールで CRC 将来計画シンポジウムを開催した。2日間とも約60名の聴衆を集め、それまでのタウンミーティングで議論されてきた8つの中規模計画の計画や、各計画に対するコミュニティとしての位置づけについてに突っ込んだ活発な



議論が行われた。本シンポジウムで策定した中規模計画に対する位置づけやコミュニティとしての結論は、学術会議天文学宇宙物理分科会に提出され、CRCからの天文関連の中規模将来計画の提案として分科会が企画した学術会議将来計画シンポジウム等に取り上げられ議論されることになった。(左図 柏キャンパスで行われたCRC将来計画シンポジウムの様子)

整理番号

